

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和元年5月8日（水）
- 2 確認箇所
H3タンクエリア
- 3 確認項目
地下水バイパス一時貯留タンクエリア水溜まり発生事象の再発防止対策に関する水平展開状況
- 4 確認結果の概要
平成31年1月15日に発見された地下水バイパス一時貯留タンクエリア（H3タンクエリア東側）外堰の水溜まり発生事象については、再発防止対策として、外堰表面防水塗装の補強塗装等を実施している。（平成31年4月3日確認）
今回は、類似箇所への水平展開として補強塗装を実施した、H3タンクエリアの北側及び西側の外堰の状況を確認した。
 - ・H3タンクエリア北側及び西側の外堰は、内側表面及びコンクリート床面の一部が部分的に補強塗装されていた。（写真1、写真2）
また、目視した限りでは、当該エリアの外堰内側表面に亀裂や損傷等は確認されなかった。
 - ・東京電力によると、H3タンクエリアの外堰と同じ構造（土嚢を積み重ねて防水シートで覆い表面を防水塗装したもの）のタンクエリア外堰を点検したところ、他のタンクエリアでは補強塗装等の処置が必要な箇所はなかったとのことであった。



（写真1-1）
H3タンクエリア北側外堰の補強塗装の例①



(写真1-2)
H3タンクエリア北側外堰の補強
塗装の例②



(写真2)
H3タンクエリア西側外堰の補強
塗装の例

- 5 プラント関連パラメータ確認
各パラメータについて、異常な値は確認されなかった。